

保護者向け

7月号

校長室だより

令和7年6月30日
座間市立相武台東小学校
校長 柏木 直樹

4月から始まった1学期も早いもので明日には7月を迎え、まとめの時期に入ります。子供たちには、1学期の学習や生活についての成果と課題を確認し、課題については夏休みの目標や計画に反映させてもらいたいと思っています。そのためには、子供任せではなく、大人が適切に関わることが大切です。明日から始まる個人面談と1学期の成績表（あゆみ）を通して、お子様の1学期の様子を担当からお伝えしますので、その内容を踏まえて御家庭でもお子様と今学期の振り返りを行い夏休みの目標や計画を立てていただければと思います。



個人面談について

7月1日（月）から5日間に渡る個人面談が始まります。私自身、若い頃は個人面談や家庭訪問が少し苦手でしたが、しだいに、保護者との話合いの時間が大変心地よい時間と感じるようになりました。普段の学校生活の中では、一人一人の子供のことをじっくり考えている時間はありません。そのため、保護者の方と子供一人のことについて話し合える時間はとても嬉しいのです。会話を通して、保護者の子供への愛情が私にも伝わり、私ももっと子供に愛情を注がなければと気持ちを新たにしました。担任にとっては子供一人一人に目や心を向ける大切な機会でもあるのです。

保護者の皆様には、お忙しい中お時間をつくっていただくこととなりますが、双方にとって有意義な時間となりますようお願いしております。

成績表（あゆみ）について

各教科の学習評価は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点になります。

知識・理解

各教科等における知識及び技能の習得状況について評価するとともに、既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

思考・判断・表現

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

主体的に学習に取り組む態度

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意味的な側面を評価します。

※ 裏面に続く

◇三つの観点の評価は、それぞれ3段階で評価します。

◎が「十分に達成している」 ○が「おおむね達成している」 △が「努力を要する」

学習評価は、学校における教育活動に関し、児童の学習状況を評価するものです。「児童がどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、児童自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにすることが学習評価の基本的な考え方です。

したがって、成績表（あゆみ）を付けるためにその時期だけ行っているわけではありません。日頃の授業の中でも、教師の声かけやノートへのコメント、単元ごとのワークテストや小テストなどでも評価を行っています。成績表（あゆみ）は、学期を総括した評価ですので、子供の中には自身の学習についての振り返りが難しいことがあるかもしれません。そのため、担任は成績表（あゆみ）配付時に、一人一人と対話を通じたフィードバックを行っています。ご家庭で振り返りを行う時には、1学期中に持ち帰っている学習の成果物（テストや学習プリント、作品等）を持ち出しながら行うとよいと思います。

いずれにしても、評価を通じて次への学習意欲を高められるよう、学校と家庭の双方で子供の学びを支えていきましょう！



夏休みの生活について

3週間後には待ちに待った夏休みが始まります。そろそろ、ご家庭で計画を立てる時期ではないでしょうか。ご家族での計画の他、子供自身の計画を立てさせることも大切です。夏休みを規則正しく計画的に過ごし、充実したものになるように一緒に考えたり確認したりしてあげてください。

今年は41日間の夏休みです。せっかくの長い休みですので、夏休みならではの体験活動を取り入れてみてはいかがでしょうか。自然体験や歴史・文化・芸術等に触れる活動は、子供の視野を広げ、豊かな人間性を育む貴重な機会となります。さらに、読書や自由研究、創作活動などを通じて、興味関心を深めることも大切です。こうした活動は、「生きる力」の基盤をつくり、子供の成長の糧となることでしょう。

夏休みが終わる頃には、一回り成長した子供たちに会えることを楽しみにしています。暑さ対策や事故・怪我等にも十分気を付けながら、有意義な夏休みをお過ごしください。



